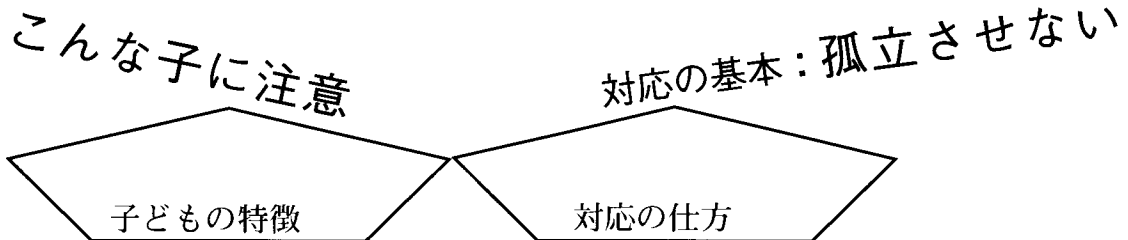


ハイリクス児への対応

ストレス反応を起こしやすい子どもには、特別な配慮が必要です。つぎのような対応に心がけ、必ず専門家の指示を受けてください。



○ 以前から問題を抱えている子

- ・身体的問題を抱えている子
- ・情緒面での問題を抱えている子
- ・家庭環境・友人関係に問題を抱えている子
- ・登校拒否傾向のある子

(こういった子ども達は、元々多くのストレスにさらされています。そのため他の子ども達よりも災害によるストレス反応を起こす可能性が高いのです。)

- ← 常日頃から子供たちの状態を把握しておくことが必要です。
- ← 災害後は保護者と連絡を密にするよう努めましょう。
- ← 必要なら病院・専門家との連絡をとりましょう。

○ 災害時に保護者と連絡がつかなかった子

(連絡がとれないことは、子どもにとって大変なストレスです。)

- ← 何度も保護者へ連絡を取ってください。
- ← 連絡していることを子どもに伝えてください。
- ← 子どもを一人にさせないでください。
(常に大人と一緒にいるように配慮しましょう。)

○ 災害で負傷した子

(ケガの程度に関わらず、負傷するということは子どもにとって大変なストレスです)

- ← 専門家に相談してください。
- ← 保護者に連絡してください。
- ← 連絡していることを子どもに伝えてください。
- ← 子どもを一人にさせないでください。
(常に大人と一緒にいるように配慮が必要です)

○ 重度の被災体験をもつ子

- ・家屋などに大きな被害のあった子
- ・家族に死者・負傷者のいる子

(災害は突然の出来事です。このような突発的な出来事によって自分の生活に大きな変化がもたらされたことを理解することは子どもにとって大変なストレスとなります。)

- ← 子どもを一人にさせないでください。
(常に大人と一緒にいるように配慮が必要です)
- ← 子どもの訴えを傾聴してください。
- ← 災害についての正確な情報を与え、誤った情報を訂正してください。
- ← 必要なら専門家への連絡が必要です。
- ← リラックスさせるよう努めましょう。

○ 疎開した子・転入する子

- ・子どもが疎開する場合
- ・子どもが転入してくる場合

(疎開した子どもは、自分だけ取り残されたような感じがし孤立感を抱く場合があります。)

- ← 疎開後も子ども同士が連絡を取れるように、学級新聞などを作った場合は送付してください。
- ← 孤立化を防ぐよう保護者への連絡を密にするよう努め、機会があれば災害学習をクラスで行ってください。
(疎開児童の経験を、他の児童と共有できるよう努めてください)